

TISの経費精算クラウドサービス「Spendia」 チェック機能拡張による不正検知・ガバナンス強化を実現 ～お客様に応じた柔軟で細かいチェック要件の設定が可能～

TIS インテックグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岡本 安史、以下：TIS）は、経費精算クラウドサービス「Spendia」のチェック機能を拡張し、不正検知・ガバナンス強化を実現したことを発表します。

「Spendia」は経費精算システムを 20 年以上提供してきた知見をもとに TIS が日本の制度や商習慣に合わせて開発した経費精算クラウドサービスで、SaaS ながらさまざまなお客様の業務要件に柔軟に対応することができます。

今回の機能拡張では、不正の検知、ガバナンス強化を目的に、「Spendia」の申請内容に関するチェック要件を以下のように柔軟に設定できるようになりました。

① 特定項目チェック

伝票内の特定の項目（複数項目可）に対し、固定項目や関数、文字列、数値などを組み合わせて数式を設定でき、柔軟な条件設定によるチェックが可能

② 二重チェック

過去申請した伝票と重複するものがあるかのチェックが可能

③ 伝票間整合性チェック

事前申請した内容と精算時の内容に乖離があるかのチェックが可能

④ 費目明細チェック

費目明細の入力内容に関するチェック要件を設定し、1 明細ごとにチェックが可能

入力ミス・確認ミスなど承認者の負荷軽減に課題を感じている経理部門担当者や経営層は、担当者のチェック作業自動化による工数削減（請求書チェックの効率化、申請時チェック・差し戻し作業の削減）などが期待できます。

■背景

コロナ禍における働き方の変化や電子帳簿保存法やインボイス制度等による法制度対応、国を挙げての DX への取り組みの後押しを受けて、請求書支払業務効率化や経費精算業務におけるペーパーレス化、ヒューマンレス化がより一層求められています。そういった状況の中、TIS ではこれまで「Spendia」導入を通じて実現を目指してきましたが、経理部門担当者や経営層から新たに下記のような要望を聞き、それを解決するために今回の機能拡張を行いました。

【お客様要望】

- ・自社特有の経費精算規定に応じて細かくリマインド／警告／禁止アラートを表示したい

- ・申請目的に応じた上限金額を超えて申請しようとした時に、エラーを提示したい
- ・内容が重複する申請に、アラートを出したい
- ・事前申請した内容と精算時の内容に乖離があることを通知したい
- ・承認者や検印者はリマインド／警告アラートが表示されてもそのまま申請された伝票の場合、そのリマインド／警告アラートの内容もあわせて確認したい

■拡張機能の概要

今回の拡張機能は、「Spendia」標準搭載機能のため、オプション費用不要でご利用頂けます。また「Spendia」の下記チェック機能を組み合わせて実現可能です。

①特定項目チェック：

伝票フォームごとに、伝票の入力項目に関して固定項目や関数、文字列、数値などを組み合わせて数式にしてチェック規則を設定します。数式を入れた計算式でのチェックが可能なため、よりお客様の細かい要件に沿った設定が可能です。

<システム管理者設定イメージ>

The screenshot shows a configuration window titled "Check Rule ②". On the left, there's a section for "Check Formula *": `DAYDIFF(@出発日,TODAY(),0)>0`. To the right, a blue banner reads: "出発日が本日より前の日付となっている伝票のチェック数式例".

<数式エディタ>

The screenshot shows a "Formula Editor" window. On the left, under "Available Items", are "Actual Payment Total Amount (sysRealPaym)" and "Actual Payment Total Amount (sysRealPaymentAmo)". Under "Custom Items", are "Outing Purpose (MOKUTEKI)", "Outing Content (NAIYOU)", and "Departure Date (SHUPPATSU)". In the center, a large blue callout box says: "伝票上の入力内容や申請者情報をチェック条件として利用が可能". Below it, the formula `DAYDIFF(@出発日, TODAY(), 0) > 0` is selected. On the right, there's a grid for operators and methods.

演算子	メソッド
+	IF
-	ISNULL
*	ISINLIST
/	DAYDIFF
==	TODAY
>	OPERATOR
<	MAX

<利用者側で表示されるポップアップイメージ>



②二重チェック：

過去申請した内容に重複するものがあるかをチェックします。チェック期間／伝票入力項目／費目を組み合わせてチェック規則を作成します。その結果、重複した申請を事前に排除でき二重計

上を防ぐことができます。

<システム管理者設定イメージ>

チェック規則 ⑦

チェック期間範囲 年度 半期 四半期 月次

同一月に出張期間と出張先が重複した伝票のチェック例

フォームコンポーネント情報

+コンテンツ追加

出張期間 * 完全一致

出張先 * 完全一致



<利用者側で表示されるポップアップイメージ>



③伝票間整合性チェック :

事前申請した内容と精算時の内容に乖離があるかをチェックします。精算額が、事前に申請した金額より大幅に上回っている場合は、チェックするなど伝票入力項目／費目を組み合わせてチェック規則を作成します。

<システム管理者設定イメージ>

チェック規則 ⑧

事前申請と出張精算の定義項目の
入力値と乖離のチェックが可能
例) 「出張目的」「出張期間」「出張先」

フォームコンポーネント情報

+コンテンツ追加

出張目的 * 完全一致

出張期間 * 完全一致

出張先 * 完全一致



<利用者側で表示されるポップアップイメージ>



④費目明細チェック :

費目単位或いは費目グループ単位で、予算金額を超過したかどうかのチェックや、事前申請した費目（明細）別の金額を精算時の費目（明細）別金額が超過しているかどうかのチェック、また明細データごとに比較項目を設定し重複するものがあるかどうか二重チェックします。

<システム管理者設定イメージ>

対象費目に対する制御ポリシー設定

規則詳細

規則コード: test01
規則名称: タクシー代規定
適用伝票タイプ: 精算伝票
規則方法タイプ: シングル制御
標準タイプ: 金額標準
カスタマイズヒント: タクシー代が超過しています。

メッセージ設定 チェック条件設定 明細毎の上限金額設定

規則設定

詳細設定 もっと見る ▾

制御情報

編集

費用金額

適用都市
含む 都市グレ… 共通

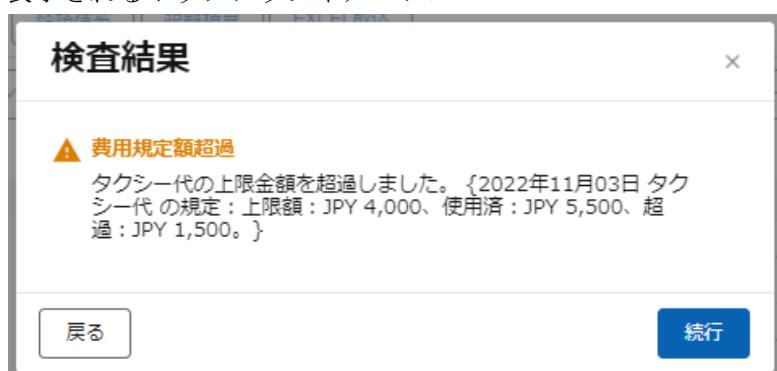
割当従業員
含む 従業員グ… 共通

標準金額
JPY 4,000

操作
コピー 削除

基準日: 2022/11/18
システム管理者
戻る

<利用者側で表示されるポップアップイメージ>



本サービスの詳細は、以下 URL をご参照ください。

https://www.tis.jp/service_solution/spendia/

■今後について

今後「Spendia」は人工知能（AI）を用いて経費精算の不正を検知する機能など、さらなる不正検知・ガバナンス強化につながるバージョンアップを予定しています。

■Spendiaについて

「Spendia」は経費精算システムを20年以上提供してきた知見をもとに、TISが日本の制度や商習慣に合わせて開発した経費精算クラウドサービスです。SaaSでありながら大手企業ならではの要件にも対応できる豊富な機能と柔軟性を持ち、スマホアプリで経費精算を完了できる利便性が特長です。「Spendia」は日本企業の業務効率化やデジタル化を支援し、企業の競争力強化に貢献します。

詳細は https://www.tis.jp/service_solution/spendia/をご参照ください。

TIS株式会社について (https://www.tis.co.jp/)

TISインテックグループのTISは、金融、産業、公共、流通サービス分野など多様な業種3,000社以上のビジネスパートナーとして、お客様のあらゆる経営課題に向き合い、「成長戦略を支えるためのIT」を提供しています。50年以上にわたり培ってきた業界知識やIT構築力で、日本・ASEAN地域の社会・お客様と共に創するITサービスを提供し、豊かな社会の実現を目指しています。

TISインテックグループについて

TISインテックグループは、国内外グループ2万人を超える社員が『ITで、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摶」「都市集中・地方衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心とした様々な社会課題の解決に向けてITサービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

TIS株式会社 企画本部 コーポレートコミュニケーション部 橋田/高橋
TEL : 050-1702-4071 E-mail : tis_pr@ml.tis.co.jp

◆本件に関するお問い合わせ先

TIS株式会社 DXビジネスユニット 経営管理サービスユニット
経営管理DXサービス企画部 Spendia事業推進室
E-mail : marke_mb@pj.tis.co.jp